

第2回 加茂市都市計画マスタープラン策定委員会
議事要旨

日時：令和5年10月24日（金）14:30～

場所：加茂市役所 5階 第1委員会室

出席者：以下のとおり（敬称略）

区分	氏名	所属・団体名
第1号 学識経験者	松川 寿也	長岡技術科学大学 准教授
	鈴木 孝男	新潟食科農業大学 教授
第2号 関係団体	海津 恵美	七谷さとやまふぁーむ
	佐藤 愛子 (欠席)	えちご中越農業協同組合 経営管理委員
	川崎 大一郎	株式会社 川崎薬品商会
	川上 和哉	有限会社 川上製作所 代表取締役社長
	藤田 和子	特定非営利活動法人 わくわくクラブ 理事長
第3号 その他	片岡 廣夫	公募委員
	笹川 裕子	公募委員
	森田 佑介	公募委員
	市川 恭嗣	加茂市 CSO
オブザーバー	上村 康司	新潟県三条地域振興局地域整備部 部長

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 現状整理について
 - (2) アンケート集計結果及び都市づくりの課題について
 - (3) 地域区分について
 - (4) 今後のスケジュールについて
- 4 事務連絡
- 5 閉会

【意見交換】

(1) 現状整理について・・・資料1

～事務局資料説明～

(委員)

・資料の中の8ページ目、「DID 人口密度・面積」について、DID はここの部分しかなかったということか。

→ (事務局) そのとおりである。DID は図示の範囲のみ。

(委員)

・23 ページの土地利用面積割合の推移について、森林の割合が多いという点は、他に参考になるような都市はあるか。

→ (事務局) これはあくまでも現状の数値であるが、土地利用の割合は市町村によって大きく異なるものである。

(委員)

・31 ページの公園は、住民の過ごしやすさや、子育てのしやすさとかの観点から今回の説明に入っているという認識でよいか。

→ (事務局) これはあくまでも現状の都市公園の立地状況を示している。現状の公園の数や人口カバー率に関する良し悪しは触れていない。

(委員)

・土地利用については、市全体以外にも例えば地域別の5地区ごとに分析されていたら分かりやすい。

→ (事務局) 検討する。

(委員)

・「計画目標年次と対象区域」について、2024年度から2044年度までの20年を計画目標年次としているが、総合計画のように、前期・後期と分かれて20年とし、その都度、見直していくということか。

→ (事務局) 中間見直しとして、10年間で見直すことが想定される。

(委員)

・今後、公園整備をしていく上で、空地やオープンスペースを活用し、2haの近隣公園や5haの地区公園に該当するような公園機能を持った空間をどう置き換えるかという議論が必要である。

→ (事務局) どのような方向性が良いのか検討し、計画に示していく。

(委員)

- ・加茂駅、バスの利用者数について、コロナの影響については、もう1年ぐらい最新データを取れると、少しまた傾向が変わってくると思うが、最新データが出てきたときにデータを更新していくことになるか。
→(事務局)最終的には最新のデータも反映する。

(委員)

- ・現況については、地域で細かにみて分析してはどうか。これは最終的に誰が見るのか。
→(事務局)最終的には市民へ公表する。

(2) アンケート集計結果及び都市づくりの課題について ・・・資料2-1、2-2、3

～事務局資料説明～

(委員)

- ・アンケート配布割り当ての考え方について、地域、年齢別の均等配分について変更ないか。
→(事務局)変更ない。均等配分を行った。10代は200人、20代から70代以上の6世代でそれぞれ300人ずつに配布した。なお、10代は16歳以上を対象とした。

(委員)

- ・10代は他の世代より配布数が少ないこと、アンケートの選択肢における居住地域は9地域にカテゴライズされているが、実際アンケート配分は地域別構想の地域区分を想定した5地域に400ずつ均等配分していることから、全体と比較すると回答数が少ない地域住民が、自分の地域は回答率が低いと錯誤する可能性がある。年齢や地域の回答割合については、各年齢や地域の配布数に対しての回答率を記載した方が良い。
→(事務局)記載を追加する。

(委員)

- ・今後、高齢者の割合が増加することを踏まえると、障がい者施設や老人福祉施設、医療機関等の現況整理が必要である。
→(事務局) アンケートでも医療については重要度が高い結果が出たし、庁内からの意見でも医療機関の分布を載せる旨指摘があった。障がい者施設のことも含め、今後、整理して記載する。

(委員)

・都市構造について、公共施設の再編のあり方も踏まえて、集約型都市構造を進めるか、もしくは分散型都市構造を進めるか議論が必要である。

→(事務局) 来月には地域別懇談会がある。今の段階で構造を決めていくかは時期尚早であり、今後、検討していく。

(3) 地域区分について・・・資料4

～事務局資料説明～

(委員)

・基本的に現在の小学校区をベースに、加茂小学校区と加茂南小学校区を一つの地域とし、5つの地域にする点について、加茂小学校区と加茂南小学校区を一つとする件に関しては、住民の人から同意をもらえれば問題ない。

→(事務局) 地域別懇談会において意見を伺うことを検討する。

(4) 今後のスケジュールについて・・・資料5

～事務局資料説明～

(委員)

・この委員会において、掘り下げた議論ができていない。委員会で何をするのか整理して示して欲しい。

・会議の時間について、説明時間に時間を要していて、議論する時間が少ない。

・他都市の委員会では、ワークショップ形式で行っているところもある。

→(事務局) 資料の説明時間については、次回以降は留意する。会議の形式も含めて検討する。

(委員)

・スケジュール通りだと第3回で骨子案が出てくることになるが、地域別懇談会の結果を踏まえての議論なしで骨子案が出てくるのは、心配である。委員会を1回増やすなどが必要ではないか。

→(事務局) 事務局で修正の上、策定完了時期は6年度末のまま、次回委員会と骨子案を示すタイミングを調整する。

(委員)

・地域別懇談会では、今何が欲しいなどそういったことではなく、20年後の地域にどうなってほしいか、子ども、孫世代のときにどうなってほしいか、という意見の抽出をしてほしい。

以上